

内部質保証シート（中期経営計画）

A	例年を上回る良い状況
B	通常の範囲内
C	要経過観察
D	改善を要する

2023年度の重点目標（学長／内部質保証推進委員会）

①第3期認証評価受審時の振り返りの中で、第6次中期計画と内部質保証システムの2つのPDCAサイクルが回っている状態であり、「内部質保証に関する取組」と「中期計画」とのPDCAの関連が見えにくいといった課題があった。

2023年度は中期経営計画と内部質保証に係る自己点検・評価のPDCAサイクル一体化し、中期経営計画の進捗状況を確認することで自己点検・評価を行う。

②その他、各部局等において可及的速やかに処理しなければならない改善課題、外部評価委員会で指摘された改善課題、内部質保証に係る各種方針の実現、新規制度等の実効性や有効性の検証などの事項について、あらゆる課題を全てPDCAサイクルに乗せる必要はなく、重要性や年度内の解決可能性などを考慮して取り組むべき課題を適切に取捨選択するものとする。

重点計画の責任者 (統轄部署等)	関連委員会	(責任者)	自己点検・評価 (Check)		改善計画・アクションプラン (Plan)				状況計画の取組状況 (Do)			取組状況の評価 (Check)			
			評価	中期計画 カテゴリー	事業計画/概括	改善課題 (Action)	課題/改善目標	期限	方法・手順	内部質保証推進組織による所見 または提言、助言、指示等	具体的な取組状況	取組の成果	進捗状況	内部質保証推進組織による所見	公表状況
庶務部		杉谷	C	教育	カリキュラム改革に向けたタスクフォースの設置	現状は未設置である。	2023年までの設置を目指してTFの詳細を検討。	2024年3月末	詳細の素案を作成し、執行役会で決議した上で、大学評議会で報告する。□	委員会において承認	スポーツ科学部カリキュラム改革・タスク検討ワーキンググループの設置を執行会で決議し、1月25日開催の第9回大学評議会で学部長から報告した。		完了	計画が適切に完了したことを確認した。	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
教学部	学部FD委員会	近藤		教育	学修成果の可視化システムの構築	現状は未構築である。	2024年までの導入を目指して、個別の学修成果可視化システムの詳細を検討する。	2024年3月末		委員会において承認 なお方法・手順について記入するよう依頼する				同部署に対して具体的な取組状況及び進捗状況の報告について、速やかな履行を要請する	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
教学部	学部FD委員会	近藤		教育	授業評価アンケートシステム導入による回収率向上と授業内容の改善	現状値は満足度87.1% 回収率34.4%のため、改善を要する。	授業評価アンケート満足度90%/年 回収率100%/年	2024年3月末		委員会において承認 なお方法・手順について記入するよう依頼する				同部署に対して具体的な取組状況及び進捗状況の報告について、速やかな履行を要請する	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
情報処理センター		堤		教育	オンライン教育環境の整備	現状は未設置である。	教材作成用スタジオを2025年までに設置	2025年3月末		委員会において承認 なお方法・手順について記入するよう依頼する				同部署に対して具体的な取組状況及び進捗状況の報告について、速やかな履行を要請する	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
国際交流センター		前島		教育	国際交流プログラムの充実	プログラム数1件	プログラム数3件	2024年3月末		委員会において承認 なお方法・手順について記入するよう依頼する				同部署に対して具体的な取組状況及び進捗状況の報告について、速やかな履行を要請する	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。

国際交流センター		前島		教育	留学生の受け入れ増大	学部：5名 大学院：10名	30名/年		2024年3月末		委員会において承認 なお方法・手順について記入するよう依頼する			同部署に対して具体的な取組状況及び進捗状況の報告について、速やかな履行を要請する	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。	
国際交流センター		前島		教育	グローバル人材の育成に向けた国際交流奨学金制度の構築	現状は未整備である。	20名/年		2024年3月末		委員会において承認 なお方法・手順について記入するよう依頼する			同部署に対して具体的な取組状況及び進捗状況の報告について、速やかな履行を要請する	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。	
キャリア支援部/教職支援センター		宮崎		教育	教員採用試験合格者数を増大	185名	150名/年		2024年3月末		委員会において承認 なお方法・手順について記入するよう依頼する			同部署に対して具体的な取組状況及び進捗状況の報告について、速やかな履行を要請する	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。	
キャリア支援部		宮崎		教育	公務員(警察官、消防官等)就職者数を増大	62名	70名/年		2024年3月末		委員会において承認 なお方法・手順について記入するよう依頼する			同部署に対して具体的な取組状況及び進捗状況の報告について、速やかな履行を要請する	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。	
ATコース/スポーツ科学センター		菅生		教育	アスレティックトレーナー合格者数の増大	0名	5名/年		2024年3月末		委員会において承認 なお方法・手順について記入するよう依頼する			同部署に対して具体的な取組状況及び進捗状況の報告について、速やかな履行を要請する	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。	
スポーツ局	スポーツ局執行会	梅林	B	教育	UNIVASランキングの向上	21位	15位以上/年		2024年3月末	より高い競技レベルの学生の輩出やクラブ運営に関する資金の更なる確保	委員会において承認	次年度よりクラブ活動に関する予算の考え方を変更し、強化予算を柔軟に使用することが出来るようになった。	より柔軟な強化予算の活用により、競技力の向上などが期待される。	実施中	助言、指示等は特にないため、引き続き改善・向上に努めること。	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
スポーツ局	熊取キャンパス連携推進会議	梅林	B	教育	中高大(浪商学園)一貫アスリート育成システムを活用するクラブ数	0クラブ	クラブ数/年		2024年3月末	高大で継続して育成する「高大連携アスリート枠」を検討する	委員会において承認	スポーツ特別総合型選抜の内数として「高大連携アスリート枠」の設定を入試委員会で決定した。	2025年度入試より活用されることが想定される。	実施中	助言、指示等は特にないため、引き続き改善・向上に努めること。	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
スポーツ局	スポーツ局執行会	梅林	B	教育	日本代表(世代別代表)として学生が合宿等に選出された数	48名(強化クラブ26名)/2019年	50名/年		2024年3月末		委員会において承認 なお方法・手順について記入するよう依頼する	日本代表(世代別代表)として学生が合宿等に選出された数 55名。目標を達成した。		完了	計画が適切に完了したことを確認した。	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
スポーツ局	スポーツ局執行会	梅林	B	教育	世界で活躍できるDASHアスリートの獲得	11名/年	20名/年		2024年3月末	DASHアスリートへのサポート体制や内容のブラッシュアップを検討する	委員会において承認	次年度4月に実施するサポートミーティングでDASHアスリートに対してスポーツ科学サポートについて概要を説明することとなった。	今後更なるDASHアスリートに対するスポーツ科学サポートの活用が期待される。	実施中	助言、指示等は特にないため、引き続き改善・向上に努めること。	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。

大学院事務室	大学院・研究教育委員会	石川(朋)	B	教育	リカレントとリスキングの充実	79名(35名)	社会人大学院生44%⇒60%	2024年3月末	社会人学生の獲得に繋がる新施策、スポーツ科学実践プログラムにおけるコーチング分野の追加を行う。	委員会において承認	研究教育委員会とWGにおいて素案を作成し、12月度研究科会議で承認。当初は来年度から導入予定であったが、急速今年度合格者から導入し、2月のB日程受験者に3名選択した合格者がいるなど効果が出てい	実施中	助言、指示等は特にないため、引き続き改善・向上に努めること。	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。	
スポーツ局	運動部活動改革プロジェクト	神崎	B	教育	部活動指導者養成セミナーの充実	97名	申込人数100名/年	2024年3月末	全国の教育委員会へリーフレットの配布やメディア掲載を活用する等PRを実施する。	委員会において承認	手順通り実施した。	105名。目標を達成した。	完了	計画が適切に完了したことを確認した。	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
教学部学生支援担当		近藤		教育	学生食堂の充実と質的向上	66.7%	学生生活実態調査「学生食堂利用状況」向上 80%	2024年3月末		委員会において承認				同部署に対して具体的な取組状況及び進捗状況の報告について、速やかな履行を要請する	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
教学部学生支援担当		近藤		教育	学内イベント(大学祭等)の質的向上	25.2%	学生生活実態調査「大学祭参加状況」向上 50%	2024年3月末		委員会において承認				同部署に対して具体的な取組状況及び進捗状況の報告について、速やかな履行を要請する	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
キャリア支援部		宮崎		教育	キャリア支援の充実	34.5%	学生生活実態調査「キャリア支援センター利用状況」向上 50%	2024年3月末		委員会において承認				同部署に対して具体的な取組状況及び進捗状況の報告について、速やかな履行を要請する	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
教学部学生支援担当		近藤		教育	学生生活の総合的な満足度向上	71.5%	学生生活実態調査「満足度」向上 80%	2024年3月末		委員会において承認				同部署に対して具体的な取組状況及び進捗状況の報告について、速やかな履行を要請する	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
DS論TF		植木	C	教育	ラーニングコモンズ×デジタルスポーツスクエアの整備	現状は未整備である。	2025年に整備	2026年3月末	IT会議を重ね、拡大より提示された予算枠内でデジタルスポーツ論の授業を展開し、他の授業やイベントにも適宜使用できる部屋の改修を今年度の事業内容に定めた。次年度以降は授業に必要な機材等の整備を行う予定	委員会において承認	数回のITでの議論の結果、来年度は提示された予算枠でデジタルスポーツ論とラーニングコモンズの両方の機能を兼ねた部屋の整備を行うこととし既存の教室の改修工事を行った。なお、デジタルスポーツ論の授業に使用する機材や什器類については設置計画を検討し購入申請を行い、次年度のなる	実施中	助言、指示等は特にないため、引き続き改善・向上に努めること。	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。	
教学部教務担当		藤平	C	教育	学生が実際に執筆した論文や発表を行った際の動画などを学外公開	0件	公開する高い水準の学修成果の数 2027年までに30件	2028年3月末	本年度は実施できていないが次年度以降両学部ともに実施予定。	委員会において承認				公開する高い水準の学修成果の数について、引き続き実施に向けた取り組みを行う必要がある。今後の課題として対応することが求められる。	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。

庶務部研究支援担当		山野	B	研究	科研費の採択件数の向上	代表：14件(新規2件) 分担：16件(新規6件)	30件以上/年	2024年3月末	外部支援業者による科研費研修会の開催。事務局と教員による計画調書の内容チェック。	委員会において承認	支援業者（ロバストジャパン）講師によるオンライン研修会を7月11日に開催した（参加者：約20名）。公募申請時に事務局と教員による研究計画調書チェックを実施した。	（新規）申請数：完了	完了	計画が適切に完了したことを確認した。	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
庶務部研究支援担当		山野	C	研究	「地域中核・特色ある研究大学の振興」連携機関として参画		1件/年	2024年3月末	立命館大学（提案大学）が申請する事業において、連携大学として参画し協力体制を築いて事業採択を目指す。	委員会において承認	まず本学が担うべき研究概要を作成し、実施メンバーを選定した。その後、参画機関による複数回の打ち合わせを経て、本学の研究力向上計画書を作成した。	「施設整備事業」は採択となったが、「強化促進事業」は採択に至らなかった。	完了	計画が適切に完了したことを確認した。	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
庶務部研究支援担当		山野	C	研究	自治体・企業・公益法人等の受託事業収入の増大	1,066万円/2022年	1,500万円/年	2024年3月末	事業案件があれば、事業経費の計上、知財等契約書の内容精査による支援を実施	委員会において承認	新規・継続ともに自治体や企業との事業展開があったが、百万円を超える案件は少なく、金額で伸び悩んだ。	591万円/年	実施中	助言、指示等は特にないたため、引き続き改善・向上に努めること。	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
庶務部研究支援担当		山野	C	研究	研究工フォートの適切な管理		研究計画書「研究工フォート欄」平均30%/年	2024年3月末	現状の研究工フォートを把握するため、次年度研究予算の計画調書内に記入欄を設ける。	委員会において承認	予定通り、研究予算計画調書内に研究工フォート入力欄を設けて申請案内を行った。提出された計画調書から研究工フォート値を集計し、平均値を算出した。	全体：29.54%（内）	完了	計画が適切に完了したことを確認した。	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
庶務部研究支援担当		山野	C	研究	在外研究の積極的活用	0名	1名/年 ※規程上1名上限	2024年3月末	在外研究員実施制度を整え、希望者からの相談に応じる。	委員会において承認	在外研究の希望者は0名であった。	0名	実施中	助言、指示等は特にないたため、引き続き改善・向上に努めること。	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
スポーツ局		梅林	B	社会貢献	トップスポーツクラブの多種目スポーツクラブ化への協力	1クラブ	クラブ数を4クラブ	2028年3月末	法人事務局と情報を共有し、適宜必要な協力を実施する。	委員会において承認	4月より1クラブが定期的な講習を実施する予定。	最初の1クラブのノウハウがクラブを横断し展開されることが期待される。	実施中	助言、指示等は特にないたため、引き続き改善・向上に努めること。	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
スポーツ局	スポーツ局執行会	梅林	B	社会貢献	大学のスポーツ資源を活用した地域振興モデル創出支援事業	2023年度採択	スポンサー獲得による自走化	2028年3月末	セールスシートを作成し企業へ営業を実施する	委員会において承認	セールスシートを作成した。次年度4月より営業を開始する予定。	スポンサー契約を締結し、フレンドリーマツチの自走化が期待される。	実施中	助言、指示等は特にないたため、引き続き改善・向上に努めること。	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。

入試部		古家	B	社会貢献	高等学校への出前講座の充実	12件/2023年 5件/2022年	15件/年	2024年3月末	受け入れ体制を整え、積極的に依頼を受けていく。	委員会において承認	13件の出前講座を実施した。	完了	計画が適切に完了したことを確認した。	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
社会貢献センター		中山	C	社会貢献	高等学校の「総合的探究の時間」への支援充実		3件/年	2024年3月末	派遣依頼については積極的に対応している状況である。	委員会において承認			同部署に対して具体的な取組状況及び進捗状況の報告について、速やかな履行を要請する	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
入試部		古家	A	社会貢献	大学訪問への対応	13件/2022年	20件/年	2024年3月末	フライヤーを作成し、高校訪問の際、積極的に案内する。	委員会において承認	17件の高校からの大学見学会を実施した。	完了	計画が適切に完了したことを確認した。	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
全部局 (庶務部学長室担当)		田中	C	社会貢献	スポーツSDGsの推進	0件	10件/年	2024年3月末	学内の取り組みを収集し、SDGsとの連動を図る。	委員会において承認	社会貢献活動「事業報告書」提出フォームにより、収集した。	実施中	助言、指示等は特にないため、引き続き改善・向上に努めること。	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
社会貢献センター		中山	B	社会貢献	学生ボランティアの活動促進(子ども運動教室、泉大津市子ども体力向上事業)	14件	14件/年	2024年3月末	計画通りに実施する。	委員会において承認			同部署に対して具体的な取組状況及び進捗状況の報告について、速やかな履行を要請する	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
教職支援センター		木谷	B	社会貢献	グッドコーチの部活動紹介	14名(9/25現在)	20名/年	2024年3月末		委員会において承認 なお方法・手順について記入するよう依頼する			同部署に対して具体的な取組状況及び進捗状況の報告について、速やかな履行を要請する	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
社会貢献センター (スポーツ局)		中山	B	社会貢献	外部機関・近隣地域/自治体/公益財団法人との連携強化	13件	15件/年	2024年3月末		委員会において承認 なお方法・手順について記入するよう依頼する			同部署に対して具体的な取組状況及び進捗状況の報告について、速やかな履行を要請する	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。

社会貢献センター		中山	B	社会貢献	小学校・中学校の教員研修支援事業数	25~28件	30件/年	2024年3月末	計画通りに実施する。	委員会において承認			同部署に対して具体的な取組状況及び進捗状況の報告について、速やかな履行を要請する	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
庶務部学長室担当		田中	C	組織・運営	職員の各種委員会への配置	委員の比率19.1%	委員の比率30%	2028年3月末	各種委員会の統廃合含め、見直しを行う。	委員会において承認		実施中	助言、指示等は特にないため、引き続き改善・向上に努めること。	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
入試部		古家	A	組織・運営	実志願者数の増大	894名/2022年	1,000人/年	2024年3月末	アナログ戦略とデジタル戦略を基軸に募集活動の充実を図る。	委員会において承認		完了	計画が適切に完了したことを確認した。	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
庶務部学長室担当		田中	B	組織・運営	大学等改革総合支援事業タイプ3+タイプ1獲得	1タイプ採択/2022年、2023年	2タイプ採択/年	2024年3月末	改革総合支援事業タイプ1の獲得に向けた検討を進める。	委員会において承認		実施中	助言、指示等は特にないため、引き続き改善・向上に努めること。	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
庶務部学長室担当		田中	B	組織・運営	文部科学省により定められた教育の質に係る客観的指標の向上	「+1%」/2023年 「-2%」/2022年	「+6%」/年	2024年3月末	「+6%」に向けた検討を進める。	委員会において承認		実施中	助言、指示等は特にないため、引き続き改善・向上に努めること。	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
庶務部庶務担当		川添	C	組織・運営	2025年度に記念式典・祝賀会の開催、記念誌の発行	未着手	成功裏に完遂	2026年3月末	今後のスケジュール等を整理する。	委員会において承認		未着手	スケジュール等を整理することが求められる。	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
庶務部庶務担当		川添	C	組織・運営	60周年記念として施設の改修や教育施設環境の整備(外観美化、補修等)	未着手	改修着手	2026年3月末	今後のスケジュール等を整理する。	委員会において承認		未着手	スケジュール等を整理することが求められる。	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。

広報室	広報・ブランディング委員会	大坪	C	組織・運営	HPを用いた広報活動の充実	698,628件/2022年 775,684件/2021年	アクセス数800,000件/年	2024年3月末	HP, SNSによる情報発信の強化、予算の許す範囲での広告強化に努める	委員会において承認	2023年度のユーザー数（アクセス数よりも正確な表現）は618,005件（3月15日現在）。前年度比12%減となった	実施中	助言、指示等は特にないため、引き続き改善・向上に努めること。	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
広報室	広報・ブランディング委員会	大坪	A	組織・運営	メディア掲載数の増大	75件/2022年	100件/年	2024年3月末	引き続き報道各社との信頼関係の醸成に努める	委員会において承認	2023年度メディア掲載は88件（3月15日現在）。前年度比17%増	実施中	助言、指示等は特にないため、引き続き改善・向上に努めること。	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
広報室	広報・ブランディング委員会	大坪	A	組織・運営	ニュース発信数の増大	351件/2022年	400件/年	2024年3月末	発信媒体としてHP、SNSに加え、ヤフーニュース・スポーツナビを追加した	委員会において承認	ニュース発信数は364件（3月15日現在）。前年度比4%増。	実施中	助言、指示等は特にないため、引き続き改善・向上に努めること。	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
広報室	広報・ブランディング委員会	大坪	B	組織・運営	プレスリリースの増大	20件/2022年	40件/年	2024年3月末	引き続き積極的なリリースに努める	委員会において承認	プレスリリース数は20件（3月15日現在）、前年度と同数	実施中	助言、指示等は特にないため、引き続き改善・向上に努めること。	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
庶務部学長室担当		田中	C	組織・運営	第3期認証評価結果・第4期認証評価基準への対応	対応中	2026年までに対応	2026年3月末	内部質保証システムの改善を含めて、評価基準への対応を行う。	委員会において承認	内部質保証システムの改善を図り、中期経営計画との連動を行った。	実施中	助言、指示等は特にないため、引き続き改善・向上に努めること。	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
庶務部学長室担当		田中	B	組織・運営	SD・FD研修の充実	FD：4件 参加率78.5% SD：1件 参加率38%	5件/年参加率100%	2024年3月末	参加率向上に向けて、SD・FD研修の運営に積極的に関与する。	委員会において承認	FD：3件 FD・SD：1件 SD：1件 合計5件 参加率58.7%	実施中	助言、指示等は特にないため、引き続き改善・向上に努めること。	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
庶務部学長室担当		田中	C	組織・運営	危機管理体制の再構築	委員会等の設置	関連規程等の見直し/202	2024年3月末	危機管理規程等の見直しを実施する。	委員会において承認	危機管理規程等の見直しを行った。	完了	計画が適切に完了したことを確認した。	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。

庶務部学長室担当		田中	C	組織・運営	危機に関する情報提供体制の構築	メール等での提供	ポスター、展示、啓発の機会 各1回/年	2024年3月末	啓発活動のため、ポスターや調査などを実施する。	委員会において承認	啓発活動のため、ポスターの作成や調査などを実施した。	完了	計画が適切に完了したことを確認した。	『大阪体育大学公式HP』において適切に公表されている。
----------	--	----	---	-------	-----------------	----------	---------------------	----------	-------------------------	-----------	----------------------------	----	--------------------	-----------------------------